I have a dream

夢 挑戦 実現

本田宗一郎

埼玉公演

生誕記念

平成20年 9月7日(日)

川越市 市民会館

午前の部／10:30開場　11:00開演
午後の部／13:30開場　14:00開演

◆本田宗一郎生誕記念 埼玉公演を迎えて

日本自動車業界の偉人本田宗一郎さんの業績を讃えるとともに、その考え、精神、哲学をこれからの日本を背負って立つ青少年たちに伝えていくことが本田宗一郎顕彰会の大切な使命であると考えます。折しも一昨年は本田宗一郎さん生誕100年の年にあたり、顕彰と伝承の絶好の機会であると考え、本顕彰会を中心に、地域の様々な方々と「本田宗一郎生誕100年記念事業実行委員会」を組織し、『記念式典』、『本田宗一郎遺品展』、『記念祭』等の事業を本田宗一郎生誕の地、天竜で実施しました。

その折、奥様の本田さちさんにも御臨席いただき、記念式典で上演された子どもたちのミュージカルとダンスに大変感動され、是非もっと多くの人々に見ていただきたいとの思いから、昨年別府公演を実施し、本年埼玉公演が実現しました。

本記念事業実施に当たり学校法人 ホンダ学園を始め当地の多くの皆様方のお力添えをいただきましたことに深く感謝申し上げます。

本田宗一郎顕彰会　会長　大橋　武司

◆本田宗一郎生誕記念 埼玉公演によせて

この度、亡き夫本田宗一郎の生誕記念にあたり、宗一郎がものづくり・ひとづくりに夢を追った地ともいうべき埼玉において記念事業が行なわれますことは大変嬉しく心から厚くお礼申し上げます。

本田宗一郎は、明治39年11月17日に旧磐田郡光明村に生まれ、天竜の美しい豊かな自然の恵みと両親や地域の皆様方の温かい人情に育まれ、自分の好きなものづくりの道を目指して天竜から東京へ巣立ちました。

その後、幾多の困難に遭遇しましたが常に大きな夢を抱いて、その実現を喜びとして生きてきました。その間、陰に陽にご指導・ご鞭撻を賜りました多くの方々のお陰で、ホンダという世界企業の礎となることができました。

今回の埼玉公演の開催につきましては、一昨年天竜で開催された生誕100年記念事業の際、天竜の子どもたちによって公演されたミュージカル「本田宗一郎物語」を観て感激し、是非埼玉の皆さんにも見ていただきたいと関係者のみなさまにご無理を申し上げ、埼玉公演を実現することができました。

宗一郎の少年時代の数あるエピソードを基に作られたミュージカル『本田宗一郎物語』をこの埼玉の地に育つ将来を担う若い皆さんにご覧いただいて、常に夢を抱くことの素晴らしさ、故郷や家族のありがたさ、ものづくりの大切さを感じとっていただきたいと思います。

最後に、今回埼玉公演でご尽力をいただきました学校法人ホンダ学園、本田宗一郎顕彰会、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会の皆様方並びに記念公演の指導者、出演者の皆々様に重ねて感謝を申し上げます。

末筆乍ら、この記をおかりしてすべての皆々様のご健勝を心より御祈り申し上げます。

本田　さち

◆本田宗一郎生誕記念 埼玉公演に寄せて

本田宗一郎という名を聞くと、若い頃の父親を思い出します。

あれは小学校四年の頃と記憶しています。父はある日を境に「ホンダはすごい、本田宗一郎ってすごい男だ」と何度も繰り返すようになったのです。子供だった私には意味が理解できなかったのですが、しばらくして我が家にきたバイク＜スーパーカブ＞がホンダという会社が作ったものであること、その創業者が本田宗一郎であることを知りました。

今にして思えば、あの時の父の喜びは、ホンダのマン島での TT レース初優勝への喝采だったのです。敗戦で自信を失っていた日本人に「日本の技術で、世界に勝ったんだ」という勇気を与え、誇りを蘇らせてくれたのが、本田宗一郎の熱いチャレンジでした。

この度、創業者夫人の本田さち様のご厚情により、川越の地において本田宗一郎の夢とエネルギーの源を、ミュージカルの形で鑑賞する機会を戴きました。私たち教職員はもとより、なによりも若い学生や若い世代に単に偉人、成功者としての本田宗一郎ではなく生身の人間としての宗一郎を感じて欲しいと思っています。

困難な戦前、戦後の時代に夢を抱き、その夢を幾多の現実として結実させた本田宗一郎の魂の軌跡。それは豊かではあるが別の困難を抱える現代の若者に、多くの勇気と生きる事の意味を感じさせてくれる事でしょう。

このミュージカルを鑑賞した多くの人々が、あの頃の父のように輝かしい高揚感に包まれ、本田宗一郎を全身で感じ取り、次の世代に語りついでいただく事を願ってやみません。

最後になりましたが、この公演を開催するにあたり本田さち様をはじめ、本田宗一郎顕彰会、浜松市、その他大勢の皆様に大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

学校法人 ホンダ学園　ホンダテクニカルカレッジ関東
校長　小栗　篤

1988年 米国自動車殿堂入り

1989年 撮影

本田宗一郎生誕記念　**埼 玉 公 演**

平成 20 年 9 月 7 日（日）
午前の部／ 10：30 開場　11：00 開演
午後の部／ 13：30 開場　14：00 開演
会場／川越市 市民会館　埼玉県川越市郭町 1－18－7

◆記念公演プログラム（午前・午後共通）

1. 本田宗一郎顕彰会 会長あいさつ
2. コンテンポラリーダンス「龍水の都」
3. 本田宗一郎の軌跡（映像により紹介）
4. ミュージカル「本田宗一郎物語」

主 催 / 本田宗一郎顕彰会
　　「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会
協 力/ 学校法人 ホンダ学園
制 作 /(株)日本シアタサービス（ＪＴＳ）

スタッフ

◆コンテンポラリーダンス「龍水の都」

ダンス指導	太田　良子
作曲・編曲	山本　裕治

◆ミュージカル「本田宗一郎物語」

脚本・演出・演技・歌唱指導・振付け	芹沢　文子
歌 唱 指 導	関　彰子
作曲・編曲	山本　裕治
舞 台 監 督	酒匂　正博

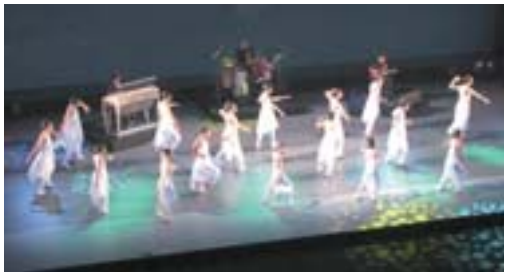
◆企　画
浜松市天竜区　区振興課

◆総合司会
寺田　亜矢子

本田宗一郎生誕記念　埼玉公演

コンテンポラリーダンス「龍水の都」

～天竜川の雄大さを、ダンスで織りなす～



キャスト

加藤　友茉	川坂　萌	澤口　奈々
鈴木　彩音	伊藤　瑞希	遠藤　愛理
池田　なつみ	田代　悠	三嶽　有咲
大地　ナナ子	鈴木　彩	中島　知里
山下　海	和田　果朱美	田中　綺乃
中谷　皆穂	細井　祐子	池田　はるか
袴田　真央	山本　真椰	吉林　摩耶
内山　梓		

演　奏

松井　みか　　山本　裕治　　笹竹　和行

ミュージカル「本田宗一郎物語」

～本田宗一郎が、いま 心の故郷によみがえる～

キャスト

北内　一圭	山田　歩	山本　駿介
袴田　郁哉	平賀　建渡	大角　真名人
佐藤　希望	山田　大介	大棄　咲子
金田　彩	櫻井　優珠	田光　早矢香
岡　みちる	渥美　みのり	西田　愛
酒井　藍	酒井　空	生田　三紗季
大石　愛	藤澤　紫野	光岡　香菜子
伊藤　杏奈	北内　花実	山田　愛
梅林　佳美	大棄　万友子	岡　みのり
川村　美帆	三室　輝佳	中田　和江
石野　良子	大澤　恵美	鈴木　裕子
寺田　亜矢子	村井　教子	山田　美由貴
内山　富勝	今田　史隆	

コンテンポラリーダンサー

反省することによって成功は、次のより大きい成功につながる　反省を忘れると、折角の成功もそこで行き止まる

本田宗一郎生誕記念　埼玉公演

平成 19 年 7 月 29 日　別府公演より

チェイサーで勢揃いした、三世代の宗一郎

みんないい顔で歌っているね

宗一郎の運命を決定づけた自動車との出会い

飛行機ショーをダンスで表現する出演者

自然な演技に、思わず笑い

親父への感謝を歌う宗一郎

あいさつの瞬間は胸にこみあげるものが

夢 挑戦 実現

I have a dream

乗り物への憧れ

昭和59年フランス、サレーブ山（標高1300m）頂上より、
ハンググライダーでスイスのジュネーブ郊外まで飛んだ。
本田宗一郎、　当時77歳

共催／本田宗一郎顕彰会・「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会
協力／学校法人 ホンダ学園